

追加で行った評価表

1 提言書の評価

| 評価項目 | | 東山自然運動公園隣接山林 | 川西地区泉池造成地及び隣接山林 |
|---------|-------------------|--|---|
| 生活・自然環境 | 車両通行の影響 | A (主)別所丸子線の交通量は7,645台で、収集車による増加割合は3.29%となる。 | A アクセス道路となる国道143号の交通量は9,415台で、収集車による増加割合は3.19%となる。 |
| | 生物への影響 | A 特になし | A 特になし |
| | 放流先の環境基準類型・漁業権 | A 放流先となる三郎川には、類型指定及び内水面漁業権はない。 | C 放流先となる浦野川は、A類型で内共第1号の内水面漁業権が設定されている。 |
| 周辺環境 | 周辺住宅等状況 | A 候補地から500m以内に集落はない。 | C 候補地から500m以内には、東側に横山、北西に仁古田の集落がある。南東側に保野集落がある。 |
| | 公共施設の位置 | B 大学、公共施設等が隣接し、最も近くにある長野県工科短期大学までは400mとなっている。 | B 半径500m以内に病院がある。 |
| 都市基盤 | 都市基盤整備状況(下水道、上水道) | B 幅員5.5mの市道に隣接しており、公共下水道なし。候補地南側の道路に水道管敷設あり。 | B 候補地は国道143号から600m南にあり、農業集落排水の集水区は隣接するが公共下水道なし。横山池の南側の道路に水道管敷設あり。 |
| 土地利用 | 土地利用計画 | B 平成8年3月に策定した国土利用計画の中では東山周辺開発拠点ゾーンとして、住宅、学園、頭脳集積型産業、文化施設を整備することとなっている。 | A 特になし |
| 土地取得 | 周辺土地利用等への影響 | A 施設を環境教育の施設として位置づければ土地利用計画にマッチした施設となる。 | A 造成を行った泉池の有効利用が図れる。 |
| 災害危険 | 流域面積の大きさ | A 背後流域はない。 | A 背後流域はない。 |
| 省エネルギー等 | 総運搬距離 | A 運搬距離は173,618kmとなる。 | B 運搬距離は201,005kmとなる。 |

2 提言書の評価の追加コメント

| 評価項目 | | 東山自然運動公園隣接山林 | 川西地区泉池造成地及び隣接山林 |
|---------|----------------|--|---|
| 生活・自然環境 | 車両通行の影響 | アクセス道路の拡幅及び新たな道路の建設が可能かどうか検討が必要。 | 国道143号からアクセス道路を新設。延長約600m、幅員10m。 |
| | 生物への影響 | [現状] オオタカ営巣地からは400m～600mの距離とされている。 マダラヤンマが近くのため池周辺に生息しているとの情報がある。 [対応] 環境保全のための措置の検討が必要。(環境影響評価) | |
| | 放流先の環境基準類型・漁業権 | 冷却水、雨水排水は放流しないで場内で処理。 | 冷却水、雨水排水は放流しないで場内で処理。 |
| 周辺環境 | 周辺住宅等状況 | [現状] 候補地から西方約400m～500mに住宅12軒とアパート5棟あり。 提言書では密集度を基準に評価している。 [対応] 建設敷地周辺の緑化により、景観に配慮するとともに建物の圧迫感を減少させる。 排出ガスについては、排出基準以下の施設を建設し、監視体制も整える。 | [現状] 候補地から500m以内には、東側に横山、北西に仁古田、南東側に保野集落がある。特に横山集落は隣接している。 [対応] 建設敷地周辺の緑化により、景観に配慮するとともに建物の圧迫感を減少させる。 排出ガスについては、排出基準以下の施設を建設し、監視体制も整える。 |

| 項 目 | | 東山自然運動公園隣接山林 | 川西地区泉池造成地及び隣接山林 |
|------|---------------------------|--|---|
| 都市基盤 | 都市基盤整備 状況(下水道、 上水道) | 〔下水道〕直近で集落排水下之郷布引処理場あり。処理能力小。接続は検討を要する。周辺企業は合併浄化槽で対応している。 〔上水道〕候補地南側市道富士山運動公園線に候補地から150mのところまでΦ150mmの給水管あり。 | 〔下水道〕横山地区(隣接地)まで集落排水区域となっている。集落まで排水管を敷設検討。(100~200m) 〔上水道〕市道横山仁古田線にΦ200mmの送水管あり。 |

3追加検討項目

| 項 目 | | 東山自然運動公園隣接山林 | 川西地区泉池造成地及び隣接山林 |
|--------|--|--|--|
| 文化財の状況 | | 〔現状〕候補地内に下堂寺2号古墳が確認されている。下堂寺遺跡及び祭祀遺跡がある可能性が指摘されている。近代戦争遺跡の下之郷半地下工場の一部がある。 〔対応〕下堂寺2号古墳には影響を及ぼさないように建物配置が行える。下堂寺遺跡、祭祀遺跡は、埋蔵文化財発掘調査を行うことにより明確となる。下之郷半地下工場は、教育委員会では、マルチメディアセンター北の林道沿いにあることを確認。そのほかについても確認が必要。 | 〔現状〕小泉条里水田跡遺跡 県営ほ場整備小泉地区で埋蔵文化財発掘調査を実施済。 |
| 土地の状況 | | 区域設定面積:A=50,000 m ² ・民有地:A=30,000 m ² ・市有地:A=20,000 m ² | 区域設定面積:A=85,100 m ² (アクセス道路含) ・泉池造成地:A=20,500 m ² ・民有地:A=64,600 m ² (アクセス道路含) |
| 造成計画 | | 市道北側に資源循環型施設、市道南側に駐車場を計画。 ・切土量:V=43,000 m ³ ・盛土量:V=71,000 m ³ ・最大高低差:西側端で8m(盛土高) | 市道南側に資源循環型施設、及び駐車場を計画。 泉池造成地は地域振興施設として計画。 ・切土量(残土処理):V=522,000 m ³ ・最大高低差:37m(切土高) |
| 総事業費 | | 100億5,600万円 | 120億5,750万円 |

1 候補地の選定について

平成19年5月25日に開催されました正副連合長会におきまして、「東山自然運動公園隣接山林」を候補地として選定いたしました。

選定した理由は次のとおりです。

(ア) 総運搬距離

圏域全体からの年間の総運搬距離が、東山候補地が17万3,618kmで泉池候補地が20万1,005kmとなっており、東山候補地が年間で2万7,000km短くなっている。

また、位置的に見ても東山候補地が圏域全体の中央近くに位置している。

(イ) アクセス道路

東山候補地は、現状の道路をアクセスとして使用できる。

泉池候補地は、延長600mの新たなアクセス道路を建設する必要がある。

しかしながら、東山候補地についても今後、アクセス道路が必要な場合は建設をしていく。

(ウ) 土地の状況

東山候補地は、設定面積5万 m^2 の内、2万 m^2 が市有地、3万 m^2 が民有地であり、泉池候補地は、切土による影響から設定面積が8万5,100 m^2 となる。その内、泉池造成地の2万500 m^2 は上田市土地開発公社所有で、アクセス道路を含めた民有地は6万4,600 m^2 となっており、全面積が買収となる。

(エ) 造成計画

東山候補地は、現況の地盤を基本に造成を行うことができる。

泉池候補地は、造成計画において52万2千 m^3 の掘削土量が発生するが、掘削土の処分先の選定に困難を要する。

(オ) 事業費

概算の事業費として、東山候補地が100億5,600万円、泉池候補地が120億5,750万円となる。泉池候補地が造成費関係と用地費で約20億円高くなる。

総事業費は単純に多い、少ないというだけでは簡単に判断する項目ではないが、様々な面において事業費の算定は必要不可欠である。

2 指摘事項について

提言書の中では表記されていない事項について、関係団体から指摘をされております。それらについての対応は次のように考えます。

(ア) 希少生物について

オオタカにつきましては、営巣地から一定の距離が保たれる場所に施設の建設を予定しておりますが、事前に生態調査等を行いまして十分な検討を行ってまいります。

また、他施設におきましても同じ例がありますので参考にしてまいります。

マダラヤンマにつきましては、建設候補地に生息場となる溜池等はありませんので、直接影響があるのかどうかも含め、環境影響評価の中で影響と保全についての措置を検討してまいります。

(イ) 文化財について

候補地内にある下堂寺2号墳は、直接影響を及ぼさない計画といたします。

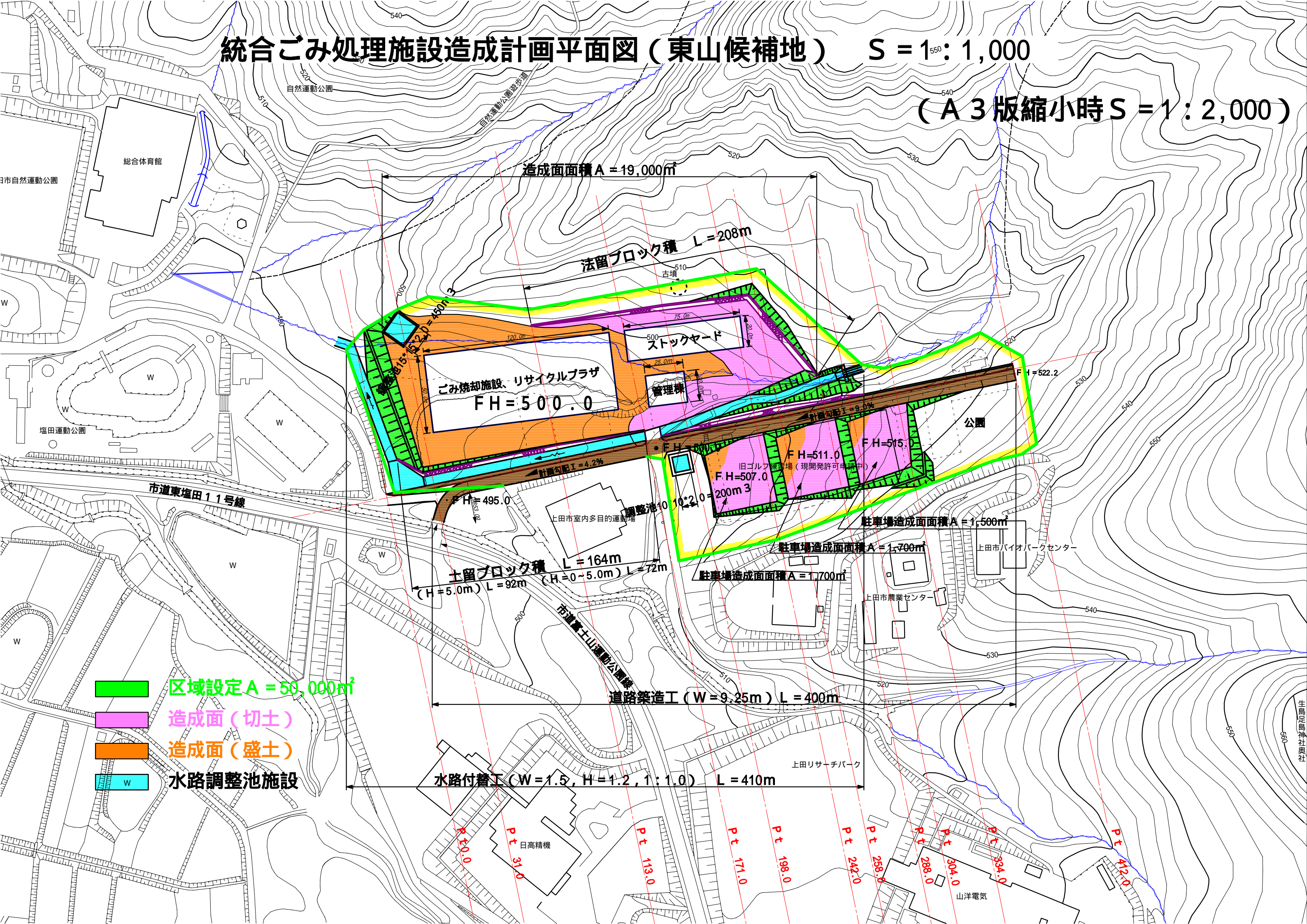
また、埋蔵文化財は事前調査を行い、埋蔵文化財が確認された場合は、文化財保護法による発掘調査を実施いたします。

隣接するリサーチパークの開発と同様な対応をまいります。



統合ごみ処理施設造成計画平面図（東山候補地） S = 1:1,000

（A3版縮小時 S = 1:2,000）



造成面面積 A = 19,000m²

法留ブロック積 L = 208m

ごみ焼却施設、リサイクルプラザ
FH = 500.0

管理棟

500
ストックヤード

調整池 10 × 2.0 = 200m²

FH = 511.0

FH = 507.0

FH = 515.0

FH = 522.2

FH = 495.0

土留ブロック積 L = 164m

(H = 5.0m) L = 92m (H = 0 ~ 5.0m) L = 72m

駐車場造成面積 A = 1,500m²

駐車場造成面積 A = 1,700m²

駐車場造成面積 A = 1,700m²

道路築造工 (W = 9.25m) L = 400m

水路付着工 (W = 1.5, H = 1.2, 1:1.0) L = 410m

- 区域設定 A = 50,000m²
- 造成面 (切土)
- 造成面 (盛土)
- W 水路調整池施設

R 100.0

Pt 31.0

Pt 113.0

Pt 171.0

Pt 198.0

Pt 242.0

Pt 258.0

Pt 288.0

Pt 304.0

Pt 334.0

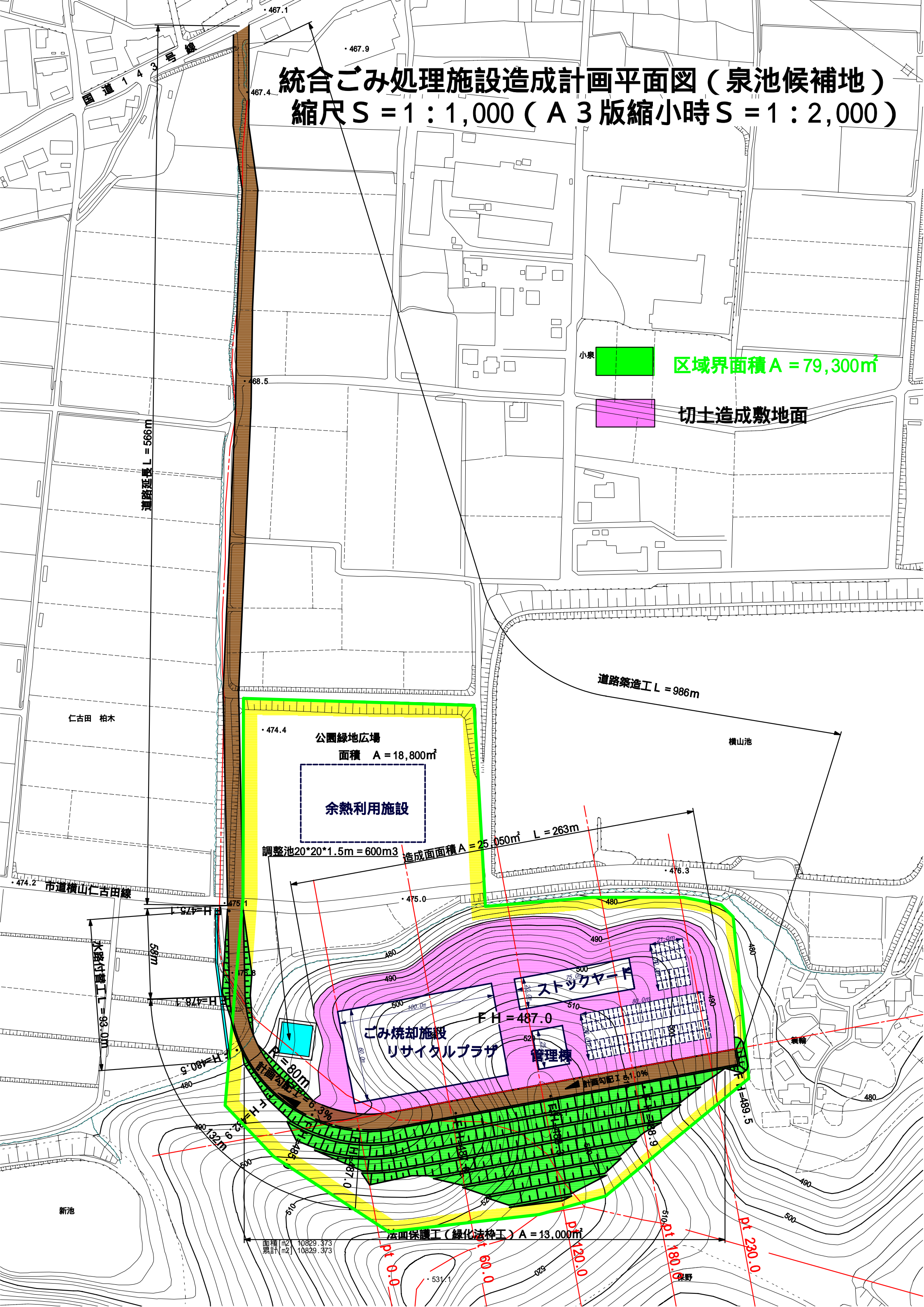
Pt 422.0

山洋電気

生島足島神社興社

統合ごみ処理施設造成計画平面図（泉池候補地）

縮尺 S = 1 : 1,000 (A 3 版縮小時 S = 1 : 2,000)



小泉
 区域界面積 A = 79,300㎡
 切土造成敷地面

公園緑地広場
 面積 A = 18,800㎡
 余熱利用施設

調整池 20*20*1.5m = 600m³ 造成面面積 A = 25,050㎡ L = 263m

ごみ焼却施設
 リサイクルプラザ
 管理棟
 ストックヤード
 F H = 487.0

法面保護工（緑化法枠工）A = 13,000㎡

面積 [m²] 10829.373
 累計 [m²] 10829.373

道路延長 L = 566m

道路築造工 L = 986m

水路付替工 L = 93.0m

R = 80m
 計画勾配 1/6.3%

計画勾配 1/1.0%

pt 0.0
 pt 60.0
 pt 120.0
 pt 180.0
 pt 230.0

仁古田 柏木

横山池

市道横山仁古田線

新池

養輪

保野